

情報・知識を生かす初歩的EBPM入門

ーエビデンスに至る複数のソースを見つけて評価するには

総務省地域情報化アドバイザー派遣事業 図書館セミナー

2023年11月15日(水)

於・沖縄県立図書館

岡本真

アカデミック・リソース・ガイド株式会社(arg)

代表取締役/プロデューサー

学問を生かす社会へ

メモ、コメント、後でしたい質問 ー各自のスマホ等で設定してください

The screenshot shows the Slido Q&A interface for the event 'はじめてのEBPM入門' (Introduction to EBPM). The interface includes a sidebar on the left with navigation options: 'はじめてのEBPM入門' (Nov 15-22, 2023, #2021 707), 'Live interaction', 'Switch event', 'Dark mode' (toggle), 'About Slido', and 'Try Slido for free'. The main area features a 'Q&A' tab, a search bar with the placeholder 'Type your question', a large QR code, and the event hashtag '# 2021707'. The bottom of the interface displays the 'slido' logo and the event ID '# 2021707'.

<https://app.sli.do/event/8P7bDXZjjZuD8stzI2M4kA/>

自己紹介(主な経歴)

ー岡本真

- ▶ 1973年生まれ(50歳)
- ▶ 1997年、国際基督教大学(ICU)卒業
- ▶ 1999年～2009年、ヤフー株式会社にてウェブサービスの企画・設計・運用に従事
(代表作:Yahoo!知恵袋)
- ▶ 2009年、アカデミック・リソース・ガイド株式会社(arg)(横浜市)を設立
 - ▶ ほかに京都芸術大学非常勤講師、桃山学院大学司書講習非常勤講師、総務省地域情報化アドバイザー、地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー等を兼任
 - ▶ 図書館を中心に公共性の高い文化施設等のプロデュースや産官学民連携のコーディネートに従事

I. EBPMを考える

ーEvidenceとは何だろうか

Evidence-Based

EBPM

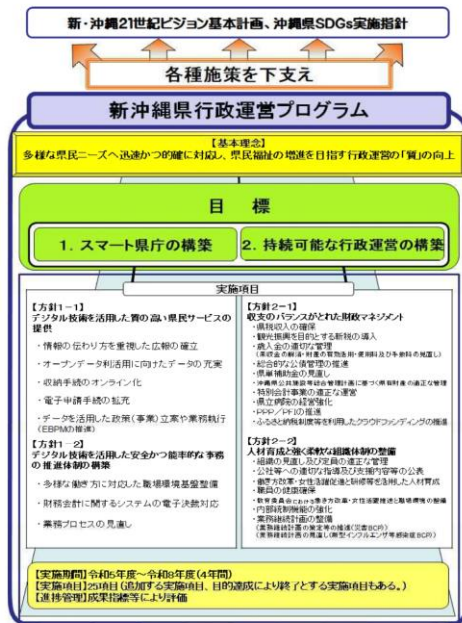
Policy Making

I. EBPMを考える

ー新沖縄県行政運営プログラムのEBPM



1 新沖縄県行政運営プログラムの体系図



【方針1-1】

項目番号	
------	--

デジタル技術を活用した質の高い県民サービスの提供

SDGsの
ゴール・
目標

実施項目名	データを活用した政策(事業)立案や業務執行 (EPM)の推進	所管課	行政管理課課長
主な課題	デジタル化がもたらす様々なデータが存在する中で、エビデンスに基づき政策(事業)立案から実行し評価を行うことが必要になっていること		
取組内容	ビッグデータを活用した政策(事業)立案や業務執行を推進することにより、本庁における様々な政策立案や業務執行の解決につながることを目指す取り組みが主だった。職員がデータを活用した課題の把握や政策立案ができるよう、研修制での取組が主だった。		
取組による効果	施策の精度・視座が向上しやすくなり、県民に対する説明責任を強化している		
県民から見た行政サービスの改善	限られた資源を有効に活用し、県民により価値ある行政サービスの提供が行われている		

■具体的な取組

取組項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	達成目標
EBPMの実践に 向け、研修の 実施	研修内容の決定 及び研修実施	外部講師による1回 内研修会実施				職員のEBPM実践 の向上によるデータ 分析力やデータ等 視覚的な表現による 政策の形成・評価・実 施する能力の向上
活動指標		研修実施 1回/回				
2 非例の発表・展 示				行政改革推進本部 における事例の展示		
活動指標				発表事例 1件/年		EBPMの実践に 知見の蓄積と社内 へのより、更なる定着 促進

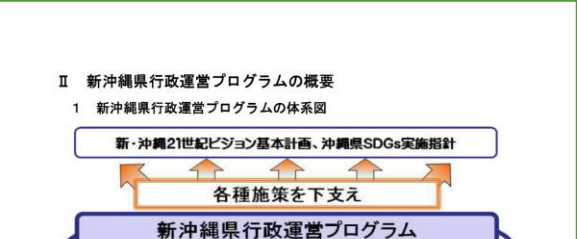
■ 成果指標

成果指標名		基準値 (R3又はR4)	年度ごとの目標値			
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1	職員の実践能力(職員のアンケート結果)	—	80%	90%	—	—
2	事例の発表件数	—	—	—	1	—

【参考】これまでの主な取組

I. EBPMを考える

ー新沖縄県行政運営プログラムのEBPM



【方針1-1】

デジタル技術を活用した質の高い県民サービスの提供

実施項目名	データを活用した政策(事業)立案や業務執行(EBPMの推進)	SDGsのゴール・目標	9 産業と雇用	12 持続可能な消費と生産
主な課題	デジタル化が進み、様々なデータが存在する中で、エビデンスに基づき政策(事業)立案段階から正しく課題分析を行うことが必要になっていっています。			
取組内容	ビッグデータ等を活用した政策(事業)立案や業務執行を推進することにより、本県における様々な政策課題や業務課題の解決につなげることができるように取り組みます。また、職員がデータを活用した課題の把握や政策立案ができるよう、研修制度の充実を図ります。			

【方針1-1】
デジタル技術を活用した質の高い県民サービスの提供

- ・情報の伝わり方を重視した広報の確立
- ・オープンデータ利活用に向けたデータの充実
- ・収納手続のオンライン化
- ・電子申請手続の拡充
- ・データを活用した政策(事業)立案や業務執行(EBPMの推進)

【方針1-1】

デジタル技術を活用した質の高い県民サービスの提供

実施項目名	データを活用した政策(事業)立案や業務執行(EBPMの推進)	SDGsのゴール・目標	9 産業と雇用	12 持続可能な消費と生産
主な課題	デジタル化が進み、様々なデータが存在する中で、エビデンスに基づき政策(事業)立案段階から正しく課題分析を行うことが必要になっていっています。			
取組内容	ビッグデータ等を活用した政策(事業)立案や業務執行を推進することにより、本県における様々な政策課題や業務課題の解決につなげることができるように取り組みます。また、職員がデータを活用した課題の把握や政策立案ができるよう、研修制度の充実を図ります。			
取組による効果	施策の構造・根拠を分かりやすく示し、県民に対する説明責任を強化します。			
県民から見た行政運営の変化(実施項目の目標)	限られた資源を有効に活用し、県民により信頼される行政サービスの提供が行われます。			

学問を生かす社会へ

1. EBPMを考える

ーエビデンス（根拠）とは何か

エビデンス（根拠）
とは何ですか？

slido

I. EBPMを考える

ーエビデンス（根拠）の証明困難性

因果と相関

証明の難しさ

疑似科学の罠

I. EBPMを考える

ーエビデンス（根拠）への漸進的アプローチ

エビデンス（根拠）を見極めるには、

エビデンスのソース（出典）が重要であり、

かつソースは複数あることが望ましい

I. EBPMを考える

ー漸進的アプローチとしての先行研究サーベイ

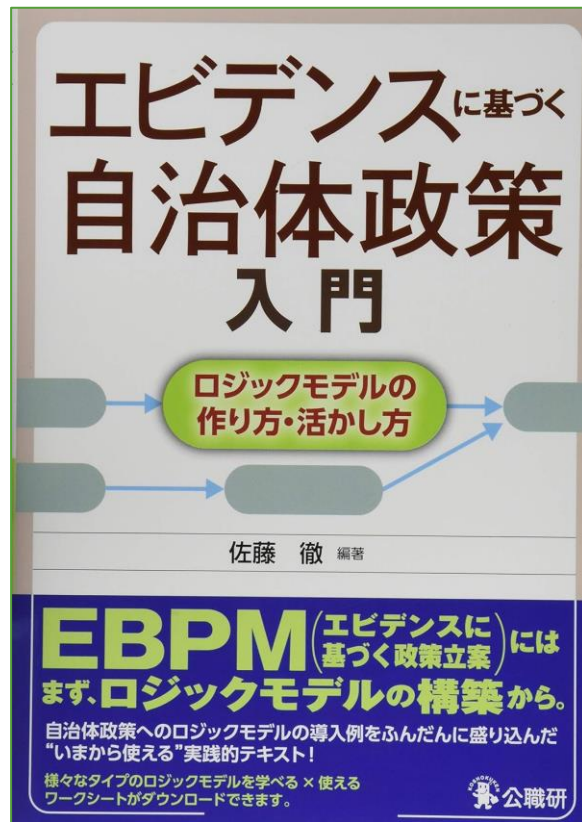
エビデンスに先行するソースを知る

ソースが示すデータ、ファクトを読む

そのために先行研究をサーベイする

I. EBPMを考える

ーEBPMに関する基礎的レファレンス



I. EBPMを考える

ーEBPMに関する個人的レファレンス

Yahoo!知恵袋を支える3つのエビデンス

山岸俊男の
信頼性研究

國領二郎の
顧客間
インタラクション
研究

黒木玄の
匿名性研究

2.政策形成プロセスから考える ー例としての離島の図書館政策

離島の生活環境の充実に
図書館等の
設置は効果があるのか
slido

2. 政策形成プロセスから考える ー離島の図書館政策に向けての調査研究

事例として挙がる島根の離島

想定

沖縄の離島との決定的な差異

相違を超えたエッセンスの把握

2. 政策形成プロセスから考える ー必要とされる多角的な調査・研究

鳥取県

三重県

日野市

横浜市

2. 政策形成プロセスから考える ー必要とされる多角的な調査・研究

鳥取県

三重県

日野市

横浜市

2. 政策形成プロセスから考える —鳥取県でできていること



県庁内図書室と県議会図書室の一体化・一体的運用
片山善博知事時代の意識的な政策（鳥取県の政策力の向上）

図書館の自由の旗手として

「図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを最も重要な任務とする」

一九五四年に採択されたわが国の「図書館の自由に関する宣言」だ。図書館は紀元前三世紀のアレキサンドリアの図書館に象徴されるように、世界を通じて情報の源として、人類の歴史とともに発展してきた。様々な人に必要な情報を提供するという役割について、「図書館の自由」という考え方が生まれ、アメリカでは「図書館の権利宣言」(Library Bill of Rights)が一九四八年に制定されている。

こういう基本的な考え方を実現するにも、大都市のように潤沢な資金があるところでは立派な図書館を設置できるのだが、住んでいる地域によって必要な情報が得られない、というようなことは、是が非でも避けたい。私たち鳥取県の意地の見せどころだ。むしろ、小さな県なりに工夫していくことで、モデル的な図書館サービスをお届けできるのではないか。公共図書館としての機能を、試行錯誤を通じて、現場主義で改革を重ねてきた。

2. 政策形成プロセスから考える ー横浜市でできていること

3^F

市民ラウンジ

市会図書室

市民情報センター

市民相談室

市役所受付

北EV B1-3F

南EV B1-3F

アトリウム (吹抜)

marine blue

議会受付

Middle Floors

中層部 (議会機能)

3~8階 (4階: 電気・機械室)

伝統ある横浜市の雰囲気を継承しつつ、市民に開かれた議会を実現

旧庁舎は、行政部分と議会部分を明確に分離配置し、二元代表制を表現していました。そのため、新庁舎においても、三層吹抜の本会議場等を高層部から分けて配置し、斬をイメージした特徴的な外観としています。

市会PRコーナーの新設や市会図書室、傍聴席の拡充等で、より市民に開かれた議会を実現します。

本会議場

本会議場は、各階層配置や白い天井、木の壁など旧議場の空間美を継承しつつ、床は海、波をモチーフに青を基調とし、横断らしさを表現しています。

傍聴席

本会議場の傍聴席は旧議場より1000席多い216席とし、誰もが安心して傍聴することができるよう、視座も新設しました。

また、全ての委員会室に傍聴席を新設し、開かれた透明な議会を実現します。

電気・機械室

主な機械室は、免震層上部かつ建屋等による低水リスクを回避した4階に配置しました。

市会PRコーナー・市会図書室

市会PRコーナーは、市会をより身近に感じてもらえるよう、エントランスホールに配置し、市会に関するコンテンツを発信、提供します。

市会図書室もエントランスの直近に配置し、市民の方にも読書等を閲覧していただくことができます。

電気・機械室

主な機械室は、免震層上部かつ建屋等による低水リスクを回避した4階に配置しました。

市会PRコーナー・市会図書室

市会PRコーナーは、市会をより身近に感じてもらえるよう、エントランスホールに配置し、市会に関するコンテンツを発信、提供します。

市会図書室もエントランスの直近に配置し、市民の方にも読書等を閲覧していただくことができます。

新庁舎整備にあたっての市会図書室の抜本的強化

市会全体での効率的・効果的なリソースシェアリング

横浜市新市庁舎における
議会図書室整備のための
予備調査

2016年3月
アカデミック・リソース・ガイド株式会社

学問を生かす社会へ

Copyright アカデミック・リソース・ガイド株式会社 (arg) All Rights Reserved.

3. 沖縄県の政策力を高める

ー沖縄でできること#1: 情報機関を信じる

沖縄県（民）の資源を使い倒す

沖縄県立図書館

沖縄県公文書館

3. 沖縄県の政策力を高める

ー沖縄でできること#2: 情報・知識に張る

情報・知識への集中に注力する

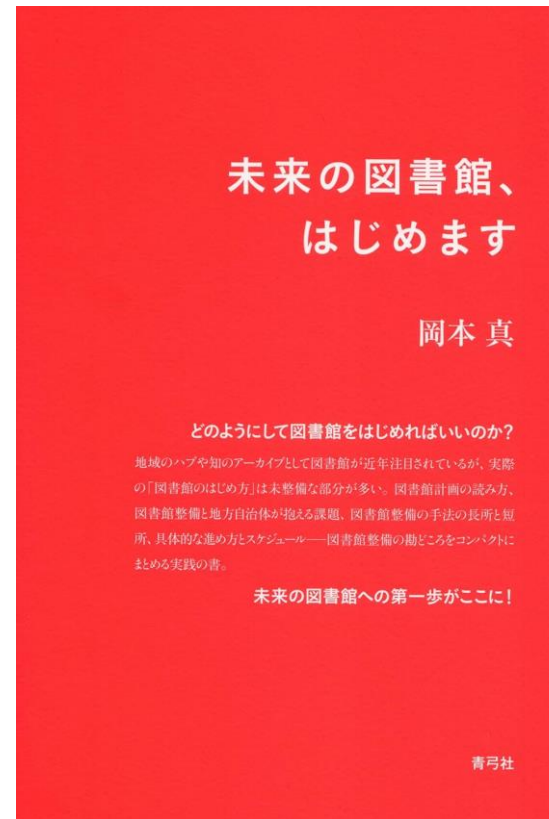
費用

機関

人員

<PR>

『ライブラリー・リソース・ガイド』(LRG) 他



学問を生かす社会へ

arg

岡本真・アカデミック・リソース・ガイド株式会社 (arg)

info@arg-corp.jp

<https://arg-corp.jp/>